

6. 2002年度日本数学会賞春季賞の授賞 について

選考委員会での審査の結果に基づき、東京大学大学院数理科学研究科の河東泰之氏が「作用素環の研究」に関する業績により賞に選ばれました。3月29日年会会場で授賞式並びに同氏による「Subfactor理論とその応用 - 作用素環と場の量子論 -」の記念総合講演が行われました。